

事業計画書

平成23年度

施設名 中山地区センター

指定管理者 緑区区民利用施設協会

1 施設管理に関する基本方針

- (1) 施設の管理運営について
 - 基本理念について
 - 予算の執行について
 - サービスのあり方について
- (2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について
 - 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
 - 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
 - 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携
- (3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について
 - サービス提供に関する基本的な考え方
 - 施設の利用に関する取扱いについて
 - 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
 - ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて
- (4) 施設の経営に関する考え方について
 - 本年度の経営に関する基本方針について
 - 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
 - 横浜市の環境対策に対する取組みについて
- (5) 職員体制・情報保持等の考え方について
 - 職員の配置及び採用について
 - 職員の研修計画について
 - 個人情報保護の措置について
- (6) 緊急時対策について
 - 防犯、防災の対応について
 - その他緊急時の対応について
- (7) 施設の保全について
 - 建物・設備等の保守・点検について
 - 清掃業務について
 - 植栽・樹木の維持管理について

2 自主事業に関すること

- (1) 自主事業計画に対する基本的な考え方
 - 自主事業について
 - 自主事業の運営方法について
 - PRの強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて(必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。)

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

- (1) 施設の管理運営について
基本理念について
予算の執行について
サービスのあり方について

基本理念

緑区区民利用施設協会は、平成7年に設立し、「区民利用施設（地区センター、コミュニティハウス）の管理運営及び区民が参加する活動への支援等」を行い、区民を主体とした活動とふれあいのある快適な地域社会の実現に貢献していくことを目的に取り組んでいます。

中山地区センターの管理運営にあたっては、この理念を基本に、関係法令・条例等を始め、地区センター利用要綱、提案書、事業計画書、中山地区センター運営方針（下記）等に基づき、公平公正な管理運営を行っていきます。又、地域の方々や利用者の方々からのニーズを踏まえて、文化活動・スポーツ・レクリエーション活動など、区民の多目的な活動・交流の場として「地域に根ざした、区民に親しまれ、利用者にとって使いやすい施設」の実現を目指した管理運営を行っていきます。

予算の執行について

厳しい財政状況の中、一層の自主財源の収入増を図り、徹底した経費の節減に努めるとともに、利用者サービスの向上を目指します。

- ・収入計画としては、自主財源の一層の確保を目指し、利用料金収入は、H21年度実績の3%増を見込み、4,508千円とし、自主事業参加料は事業費の約6割を見込み収入増に努めます。
- ・経費の執行にあたっては、重要性・緊急性・優先性等を考慮に入れて節減に努め、「最小の経費で最大の効果」をあげるようコスト削減に努めます。

サービスのあり方について

- ・「センター委員会」「利用者会議」「利用者意見箱」等により意見を積極的にいただき、地域の力や知恵を反映していくとともに、職員一同お客様への対応についての意識やスキルを向上させ、安心・安全で満足いただける管理運営に努めます。
- ・特に、スタッフの対応がセンター運営の要と考え、常に質の高い接客力を身につけるため、日常のOJTや研修会等を通じ、挨拶や対応技術の習得・向上を目指し人材育成に努めます。
- ・「広報よこはまみどり区版」、毎月発行する「地区センターだより」、ミニコミ誌の活用を図り、地区センターの運営・事業PRを積極的に行います。又、小学校向け広報やケーブルTV、ホームページの充実に努めます。
- ・日曜日及び祝日の開館時間の1時間延長について、実施に向け準備を進めます。

<中山地区センター運営方針>

- 1 笑顔と声かけで利用者をお迎えし、心安らぐ場を提供します。
- 2 たくさんの人々が訪れ、世代間交流が生れる事業・支援を行います。
- 3 公平な対応で接し、「もったいない」の心で経費の節減に努めます。
- 4 「ハーモニーみどり」の一施設として、施設間の連携を密にした運営を目指します。

1 施設管理に関する基本方針

- (2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について
地域の特徴のとりえ方と運営への反映の考え方
地域ニーズや利用者ニーズのとりえ方と運営への反映の考え方
併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

地域の特徴のとりえ方と運営の考え方

中山地区センターの周辺は、JR 中山駅を基点に商業施設や新興住宅地、公立・私立小中高等学校などがあり、昔から住んでいる地元住民と、住宅開発の後に住み始めた住民が混在し、バラエティに富んでいます。

センターを利用圏とする地域は、新治中部地区連合、山下地区連合ですが、利便性の良さから近隣にある会社や工場などに勤務する人々から子育て中の若い世代、こどもから高齢者まで、幅広い世代の交流の場となっています。

そこで、こどもから高齢者まで、幅広い世代が誰でも気軽に利用できる施設運営と自主事業の企画を行い、多様な交流と活動の場を提供していきます。

又、子育て世代や保護者への支援として、近隣の小中学校と連携し、しつけや学力の向上に貢献していきます。

地域ニーズや利用者ニーズのとりえ方と運営への反映の考え方

- ・センター委員会や利用者会議を開催するほか、利用者意見箱の常設、自主事業終了後にアンケートを行うなど、積極的に地域や利用者の声を把握し、運営に反映させていきます。
- ・今までの実績から、人気のあった事業は繰り返し開催し、ニーズに応じていきます。
- ・日常から、利用者に気軽に声をかけ、コミュニケーションをとる中で、利用者ニーズの把握に努めます。

併設施設、他施設、地域活動する団体、との連携

- ・複合施設内5施設との連携は、各施設目的の達成や「ハーモニーみどり」の安全な効率的な管理運営の面からも重要ですので、月1回の施設長会議を始め、機会あるごとに緊密な連携をとって、相乗効果が生れるように工夫して取り組んでいきます。
- ・区内6つのコミュニティハウスとの連携を密にするため、定期的に情報交換を行い、組織内の情報の共有と業務課題の解決に努めます。又、全市的な事務局長会議や館長会議を活用し、情報の収集や業務の改善等に努めます。
- ・健康・福祉・子育て支援・青少年健全育成等、公益上特に必要と認められる地域で活動している団体には、センターの優先利用や減免など、活動にあたっての支援を行っていきます。

又、自主事業終了後に生れ活動を始めた団体には、会員募集や優先利用などの支援を行い、継続的な活動をサポートしていきます。

- ・近隣自治会等の地域活動の拠点や集會に活用され、気軽に利用できる身近な施設としての役割を果たしていきます。

1 施設管理に関する基本方針

- (3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について
サービス提供に関する基本的な考え方
施設の利用に関する取扱いについて
活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

サービス提供に関する基本的な考え方

地域の方々が、「また利用したい」「身近なオアシス」と思ってもらえるようなサービスを提供していきます。

- ・明るく清潔で、挨拶を励行し、コミュニケーションを図り、利用しやすい雰囲気を整えた、様々な活動や地域交流が生れる場づくりを目指します。
- ・誰でも気軽に参加できるニーズにあった自主事業を企画するとともに、これを広く広報し、より多くの方々が、参加できるよう多くの機会を提供していきます。
- ・シルバー世代、子育て世代、児童等にとって気軽に交流できる「居場所」を提供します。
- ・日常の業務を行うにあたっては、受付には、常にスタッフなど1名は配置し、利用者の立場に立って、明るく、良質で、公平なサービスの提供を行っていくとともに、利用受付時や利用の終了時の声かけなど、利用者とのコミュニケーションを頻繁にとり、迅速・的確な対応に努めます。

施設利用に関する取扱いについて

- ・条例、利用要綱、マニュアル等に基づき、利用者の立場に立って公平・公正を基本に管理運営します。
- ・優先利用や利用料の減免については、他の利用者への影響や公平性を損なわない範囲で弾力的な運用も含め、規定に従い適正に運用していきます。

活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

- ・利用の内容、方法、ルール等について、受付や電話等で、利用者のそれぞれの立場に立って、わかりやすく、丁寧に説明していくことを心掛け、活動や交流の一助となるよう努めます。そのためにも、職員間で情報やノウハウの共有に努め、誰もが適正に対応できるよう職員のコーディネート能力を育成していきます。

ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

- ・利用者意見箱や直接いただいたご意見・苦情等は、よりよいサービスを提供するための資源と受け止め、速やかに運営に役立てるとともに、本人回答、館内掲示、各種会議で公表していきます。
- ・情報公開の取扱いについては、「中山地区センター情報公開規程」(仮称)の制定に向け準備を進め、個人情報保護を徹底したうえで、積極的に情報公開していきます。
- ・センター運営の基本となる年度事業計画書及び報告書、自主事業計画書及び報告書を始め、センター委員会、利用者懇談会等の資料は、自主的に公開し、センター運営について利用者や地域の方々の理解と信頼を得られるよう努めていきます。

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

本年度の経営に関する基本方針について
効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
横浜市の環境対策に対する取組みについて

本年度の経営に関する基本方針について

「地域に根ざした、区民に親しまれ、利用者にとって使いやすい施設」の実現を目指して、施設運営を進めていきます。

- ・経営にあたっては、自主財源の一層の確保・経費節減に努めるとともに、ニーズを的確にとらえた自主事業を実施し、利用率の向上を目指し、健全で透明性のある経営を進めていきます。
- ・執務にあたっては、区民サービスの向上と効率的な運営を基本に、業務の質の向上に努めます。
 - ア お客様の声をよく聞き、快適な施設環境を提供します。
 - イ お客様が安全に安心して利用できるよう万全な危機管理を行います。
 - ウ 個人情報保護・金銭執行管理・執務執行管理を適正に行います。
 - エ 職員のコミュニケーションを密にし、情報共有を進め、執務能力の向上を図ります。

効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

「スタッフのできないことをなくそう」を合言葉に、費用対効果を常に考え、効率良い管理とコスト削減に努めます。

- ・協会職員とセンター職員との兼務を進め、効率的な組織運営を行います。
- ・自主事業の実施には、利用率の低い時間帯や稼働率の低い部屋の利用など工夫し、効果的な部屋利用を行っていきます。
又、2週間前は利用回数制限を外していますが、できるだけ空き部屋が出ないように、利用料の減額を検討していきます。
- ・備品の修繕、樹木の簡単な手入れなど、館内外の簡易な補修や整備は、スタッフができるだけ自前で行います。
- ・施設のメンテナンス経費について、仕様書や単価のチェック・見直しを行い節減に努めます。
- ・備品の更新にあたっては、リサイクル品や中古品の購入を進めます。
- ・利用者へ節電・節水を呼び掛けるとともに、不要な電気、冷暖房の温度や水道の止め忘れなど、館内点検時等にきめ細かくチェックし、無駄を省きます。
- ・スタッフ会議で「コスト削減案」を出し合い、職員のコスト意識の向上と効果的な実践を目指します。

横浜市の環境対策に対する取組みについて

- ・冷温水発生機にインバーターの取り付けや、太陽光発電システムの設置による省エネ活動を、引き続き進めます。
- ・センター利用者には、ごみの持ち帰りを徹底するとともに、センターから出るごみは、極力抑制し分別は徹底して資源化に努めます。
- ・ペットボトルのふたについては、別途分けて収集し、NPO 法人を通してワクチンなどの購入費用に充てる活動に協力していきます。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

職員の配置及び採用について
 職員の研修計画について
 個人情報の保護の措置について

職員の配置及び採用について

職員は、館長1名、指導員2名、コミュニティスタッフ12名、作業スタッフ2名の17名を配置します。常に、館長又は指導員のうち1名及びスタッフ2名を配置し、利用者数が多い時間帯にはスタッフを増員して、円滑に運営していきます。

職 種		人数	雇用形態・勤務体制		
館長		1名	常勤	早番：8:45~16:45	1日2名が勤務、3名でローテーション（日祝日は1名で17時まで）
指導員		2名		遅番：13:15~21:15	
ス タ フ	午前	4名	非常勤	9:00~13:00	1日に2名ずつ勤務、半月ごとにローテーション
	午後	4名		13:00~17:00	
	夜間	4名		17:00~21:00	
	作業	2名		8:30~11:30	1日1名勤務、半月ごとにローテーション

< 職員の採用 >

- ・館長には、施設管理・運営や地域活動に精通している者のうち適格者を、又、指導員やスタッフは、公募により「地域の施設は地域の方々に運営していくこと」を基本に、近隣地域から職務経験・地域での活動実績や職務適正を考慮して採用します。
- ・スタッフには、短時間の勤務体制（4H）を採用し、より多くの地域の力（女性、シルバー世代含む）や有資格者を活用することで豊富な知識や経験を十分に生かします。
- ・公募にあたっては、地域の人材を広く募集するため、自治会やセンター委員会等に情報提供し、周知に努めます。

職員の研修計画について

施設運営に必要な能力・資質の向上を図るため、業務研修、接遇研修、消防救助訓練、人権・個人情報保護研修等、様々な機会をとらえて研修を実施していきます。

特に、年2回の「ハーモニーみどり合同避難訓練」に参加し、実地対応能力の向上や施設間の連携強化を進めます。

又、責任職には、リーダーシップや指導力の向上のための研修や、指導員には、企画力の向上を目指す生涯学習関係の研修など、積極的に参加させていきます。

個人情報の保護の措置について

個人情報の取扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「横浜市個人情報の保護に関する条例」「個人情報取扱特記事項」「地区センター等個人情報保護方針」を遵守し、適正に取り扱うよう研修等を通じ、職員に徹底していきます。

- ・館長を個人情報保護責任者とする個人情報保護体制を確立します。
- ・取得した個人情報は、原則として本人の同意がある場合以外は開示しません。
- ・個人情報漏えい防止には、施錠できる書庫への保管、シュレツダによる処理、持ち出し禁止・コピー禁止、パソコンの施錠・パスワード設定、記録媒体の施錠管理など、職員ひとり一人に徹底していきます。

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

防犯、防災の対応について その他緊急時の対応について

防犯、防災の対応について

安心・安全に利用できる地区センターを目指し、防犯、防災の対応については、館長を対応責任者とし、各対応マニュアルに基づき、迅速・的確に初動体制をとって対応していきます。

又、緊急連絡網を作成し、区・関係機関等へ迅速に連絡し、連携して対応していきます。

- ・当協会の「防犯マニュアル」「防災マニュアル」を月1回スタッフ会議で確認します。
- ・日常点検時に、点検実施表を用いて1日7回以上館内外の確認を行い、防犯防災、事故防止に努めます。
- ・閉館時の防犯、防災については、警備会社と契約し万全を期します。
- ・小中学生の集まる時間帯は、スタッフを増員して配置し、混雑時の安全対策をとります。
- ・万が一、施設で発生した損害賠償等に対応するため、施設賠償責任保険に加入し、対人2億円の補償を確保します。
- ・「子ども110番」「警察官立寄所」など、地域の防犯に積極的に協力していきます。

<特に、防災については>

- ・館長を「防火責任者」とし、防災計画を策定します。
- ・消防署と連携して、避難訓練1回、消防訓練（施設合同）2回実施します。AEDの取扱い訓練も合わせて実施します。
- ・区との「災害時における施設利用の協力に関する協定」に基づき、災害時の住民の避難場所としての運営を行っていきます。

その他緊急時の対応について

- ・館内外で事故等が発生した場合は、速やかに救急救助・警察・区等関係機関へ連絡・報告し、各機関と連携して迅速・適切な緊急対応をしていきます。その際、被害者の応急措置や家族への連絡、付き添い等を適切にできるよう研修等で、職員に徹底していきます。
- ・特に、小中学生のトラブルについては、学校との連携を密にし、子どもの健全育成に配慮した対応がとれるよう努めます。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

建物・設備等の保守・点検について
清掃業務について
植栽・樹木の維持管理について

施設の保全については、「利用者の方々が、気持ちよく、安心・安全に地区センターを利用していただけよう」に、経費節減を念頭に置いて、できるところは自力で行い、資格や専門知識の必要な分野は専門業者に委託し適正に行っていきます。

建物・設備等の保守・点検について

- ・建物内外の損傷状況、エレベーター、自動扉、防災機器、電気・空調設備、給排水衛生設備などの保守点検は、専門業者に委託し、安全で快適な環境を維持します。不調・不具合が発見された時は、早急に対応します。
- ・建物、設備、備品などの日常的な保守管理は、スタッフが効率よく漏れなく確認できるように点検実施表を用い毎日7回点検を行います。又、室内は利用者の退出後に、その都度設備・備品に異常がないか確認します。
- ・建物・設備の不具合については、過去の実績も考慮して修理費を確保し、緊急性、優先度の高い順にタイムリーに補修していきます。

清掃業務について

- ・毎日の日常清掃は、床・トイレ清掃、拭き掃除など作業スタッフが行います。
- ・定期的な清掃は、専門業者に委託して実施します。
 - 毎月実施 : 床洗浄・ワックスかけ、トイレ清掃
 - 年4回実施 : ガラス清掃、換気扇など
 - 年1～2回実施 : タイルカーペット洗浄、屋上清掃、など

植栽・樹木の維持管理について

- ・環境保全と緑化に努め、今後も緑のカーテン等に自力で取り組みます。
- ・敷地内の植栽は、適切な時期（年2回）に委託による剪定・消毒を行い、清潔で明るい環境づくりに努めます。

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

自主事業について

自主事業の運営方法について

PRの強化について

自主事業について

誰もが気軽に参加できる自主事業を企画・実施し、「いきいきと心豊かな生活を送るきっかけづくりや仲間づくり」をコーディネートしていきます。

< 自主事業 >

- ・年間60件以上の開催を目標に、魅力ある自主事業を行い、より一層の参加者の増加を目指します。
- ・人気の高い自主事業は内容を工夫しながら継続して開催するほか、稼働率の低い時間帯に参加可能な対象者のニーズに沿った事業を企画するなど、リピーターの獲得と稼働率の底上げに努めます。
- ・ニーズを踏まえ、各年代各層が参加でき、世代間交流もできる、生活に密着した、「体力・健康づくり」「生活の幅を広げ豊かにする教室」「教養を高める講座」などの自主事業を実施します。

< わんぱくホリデー事業 >

- ・国際化が進む中で、地域の子どもたちに日本の良き伝統文化を広め、理解を深めるきっかけづくりを目的とした講座を企画していきます。
- ・地域の事情を考慮し、放課後の子どもたちの居場所として、何時でも参加できる講座や勉強会などを企画・実施していきます。
- ・地域の教育力を高める一助として、日々のふれあいを通じて公共施設の利用方法のマナーや他人への思いやりが育てられるよう支援していきます。
- ・達成感・満足感を味わってもらうため、練習の成果を発揮できる場を設ける朗読劇の発表会や百人一首大会などを実施していきます。
- ・アンケート結果から、親子一緒に楽しめる講座やバラエティに富んだ事業を実施します。

自主事業の運営方法について

- ・誰もが、そして大勢が参加しやすくするために、参加費を安くするとともに、参加者が予定数を超えた場合は、より多く参加できるよう講座の講師と調整を図ります。
- ・自主事業がもとで育った団体には、会員募集や部屋の優先利用などの支援を続け、継続的な活動を側面からサポートしていきます。
- ・各教室、講座の講師には、資格を持つ区内で活躍している人を中心にあて、区内人材の有効活用と経費節減に努めます。
- ・自主事業参加者に感想のアンケートを行うなど、検証を行い今後の企画に役立てます。

PRの強化について

「広報よこはまみどり区版」への掲載、毎月発行する「地区センターだより」、ミニコミ誌の活用を図り、自主事業のPRを行っていきます。

又、小学校の協力を得ての広報や、ケーブルテレビの活用、ホームページの充実に努めていきます。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて(必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。)

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて
(目標 稼働率 63%)
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて
(目標 利用料金収入平成 21 年度実績 3%増)
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて(目標 稼働率 63%)
 - ・日曜日及び祝日の開館時間を 1 時間延長します。(H23 年 10 月予定)
 - ・2 週間前は利用回数制限を外していますが、できるだけ空き室が出ないように、利用料金を減額して利用の促進を図ります。(H24 年 4 月実施予定)
 - ・自主事業は、ニーズを踏まえた、誰もが気軽に参加できる事業を 60 件以上目標に実施します。又、稼働率の低い時間帯(午後 3 時~ 6 時)に参加可能な対象者のニーズにあった企画を提供し、稼働率の底上げを図ります。
 - ・稼働率の低い部屋(料理室、和室)は、料理教室シリーズや和風文化を取り入れた自主事業を増やします。特に、料理室の活用は、午後利用の延長緩和、夜間時間帯の自主事業の実施など、柔軟な対応を行います。
 - ・広報よこはま区版、地区センターだより、ミニコミ誌、ケーブル TV 等の活用のほか、小学校との一層の連携やホームページの充実に努め、地区センターや自主事業を広く周知し PR の強化に努めます。
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて
(目標 利用料金収入平成 21 年度実績 3%増、4,508 千円)
 - ・2 週間前は利用料金を減額して、利用促進を図り、収入増を図ります。
 - ・自主事業をできるだけ空きが多い時間帯(午後 3 時~ 6 時)にも実施し、稼働率向上と利用料金の増収を図ります。
 - ・稼働率の低い部屋(料理室、和室)は、料理教室シリーズや和風文化を取り入れた自主事業を増やし、増収を図ります。
 - ・センターの紹介や事業の広報を充実強化し、部屋の利用と参加を促進していきます。
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
 - ・年間 60 件以上の開催を目標に、子どもから、高齢者まで各年代各層が参加でき、世代間交流もできる、「体力・健康づくり」「生活の幅を広げ豊かにする教室・講座」など実施していきます。
 - ・特に、子ども達には、日本の伝統文化、朗読劇、百人一首大会など参加型事業を多く企画するほか、親子で一緒に楽しめる事業を提供していきます。
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて
地区センターの目標は、職員全員の目標として共有し、「達成するためにはどうしたらよいか、どのような貢献ができるか」をひとり一人が考え行動できるよう、職員意識と組織力を高め、課題解決力の向上に努め、サービスの向上に取り組みます。

自主事業計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	募集対象	自主事業予算額					
	募集人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
旅行に役立つ中国語 4回 (1回)	成人	56,000	20,000	36,000	20,000	32,400	3,600
	20人						
	1,800円						
プロ直伝！ゴルフレッスン 4回 (1回)	成人	148,000	28,000	120,000	28,000	120,000	0
	15人						
	8,000円						
ワンランク上の トールペイント 2回 (2回)	成人	51,600	10,000	41,600	10,000	40,400	1,200
	16人						
	1,300円						
シルバーボウリング 4回 (1回)	成人	84,000	24,000	60,000	24,000	58,200	1,800
	15人						
	4,000円						
アロマセラピー ハンドマッサージ 1回 (1回)	成人	24,200	5,000	19,200	5,000	18,600	600
	16人						
	1,200円						
本格キムチ作り 1回 (1回)	成人	37,000	5,000	32,000	5,000	30,080	1,920
	20人						
	1,600円						
脳いきいきウォーキング 4回 (4回)	成人	60,000	20,000	40,000	20,000	27,280	12,720
	40人						
	250円						
ホテルラウンジの 本格カクテルに挑戦 4回 (4回)	成人	108,000	28,000	80,000	28,000	77,440	2,560
	16人						
	1,250円						
デジカメ整理術 カレンダー作り 3回 (3回)	成人	66,000	24,000	42,000	24,000	38,040	3,960
	20人						
	700円						
デジカメ整理術 アルバム作り 3回 (3回)	成人	66,000	24,000	42,000	24,000	38,040	3,960
	20人						
	700円						
春夏秋冬 季節の行事食 4回 (4回)	成人	68,000	20,000	48,000	20,000	42,880	5,120
	16人						
	750円						

万葉集こぼれ話 1回 (1回)	成人 20人 1,000円	28,000	8,000	20,000	8,000	19,100	900
腰痛にならないための 予防整体法 2回 (2回)	成人 20人 1,000円	56,000	16,000	40,000	16,000	36,160	3,840
腰痛になってしまった時 の 対処整体法 2回 (2回)	成人 20人 1,000円	56,000	16,000	40,000	16,000	36,160	3,840
大人のための 卓球基本教室 6回 (1回)	成人 30人 1,500円	93,000	48,000	45,000	48,000	27,720	17,280
ファイナンシャルプラン ナーから学ぶ私の生活設 計 4回 (4回)	成人 15人 400円	44,000	20,000	24,000	20,000	20,400	3,600
毛筆で年賀状 4回 (1回)	成人 16人 2,000円	52,000	20,000	32,000	20,000	29,600	2,400
デッサンの一歩 4回 (2回)	成人 16人 1,000円	64,000	32,000	32,000	32,000	29,600	2,400
陶芸教室 4回 (4回)	成人 12人 1,000円	80,000	32,000	48,000	32,000	45,600	2,400
		1,241,800	400,000	841,800	400,000	767,700	74,100

事業ごとの事業内容等は別紙「自主事業別計画書」に記載してください。

自主事業計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
おもちゃ病院 6回 (6回)	小学生以下の子どもとその保護者 20組	24,000	24,000	0	24,000	0	0
	0円						
はじめての茶道教室 4回 (1回)	小学5年生～高校生 10人	35,000	20,000	15,000	20,000	15,000	0
	1500円						
茶道のお稽古(表千家) 12回 (1回)	小学5年生以上 6人	84,000	0	84,000	60,000	18,600	5,400
	14,000円						
夏休み子ども卓球教室 6回 (1回)	小学生 30人	63,000	48,000	15,000	48,000	9,600	5,400
	500円						
親子バドミントン教室 6回 (1回)	小・中学生とその保護者 20組	68,000	48,000	20,000	48,000	14,000	6,000
	1人500円						
やってみよう! 囲碁・将棋ゲーム 20回 (20回)	小学生～高校生 20人	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	0円						
夏休み工作教室 牛乳パックで作るびっくり箱 1回 (1回)	小1～2年生 各12人	14,000	8,000	6,000	8,000	6,000	0
	500円						
夏休み工作教室 メモリアルクロック 1回 (1回)	小3～4年生 各12人	14,000	8,000	6,000	8,000	6,000	0
	500円						
夏休み工作教室 リニアモーターカー 1回 (1回)	小5～6年生 各12人	14,000	8,000	6,000	8,000	6,000	0
	500円						
劇サークル楽童IN中山 14回 (1回)	小学生 20人	70,000	70,000	0	60,000	10,000	0
	0円						
放課後の学び舎 8回 (8回)	小学生 20人	20,000	20,000	0	20,000	0	0
	0円						
カンフーレッスン 4回 (1回)	小学生 20人	16,000	16,000	0	6,000	7,600	2,400
	0円						
プロに学ぶ はじめてのボウリング 4回 (1回)	小学生 10人	15,000	5,000	10,000	7,000	800	7,200
	1000円						
百人一首大会 1回 (1回)	小学生以上 50人	15,000	15,000	0	10,000	5,000	0
	0円						
合計		462,000	300,000	162,000	337,000	98,600	26,400

事業ごとの事業内容等は別紙「自主事業別計画書」に記載してください。

自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旅行に役立つ 中国語	万博を経て注目を集め旅行者も増えている中国。旅行の際、気軽にコミュニケーションがとれるような便利なフレーズを学びます。また、風習などにもふれてその国特有の文化も学びます。	6月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プロ直伝！ ゴルフレッスン	講習と実習をまじえて、ゴルフ上達のためのHOW TOを学びます。プロに指導していただくことで、わかりやすく楽しく練習します。	4月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワンランク上の ツールペイント	初心者を対象に傘やショッピングバッグなど実用的でおしゃれな作品作りに挑戦します。	5月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーボウリング	ボールの持ち方、投げ方フォームなどボウリングの基本からていねいに学んでいきます。プロによるわかりやすい指導で個々のレベルの向上を目指します。	9月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アロマセラピー ハンドマッサージ	忙しい毎日の中、自分にあったアロマを見つけリラックスします。	8月 1回

自主事業別計画書

施設名 横浜市中心地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本格 キムチ作り	本場の材料を使い、韓国の手作りキムチの作り方を白菜の切り方、塩漬けの仕方から丁寧の勉強します。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいきウ オーキング	脳に有効なウオーキング方法を会得し、体に無理なく継続することで脚筋力を鍛えます。	10月 4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ホテルラウンジ の 本格カクテルに 挑戦	実際のホテルラウンジで出されるカクテルの作り方とポイント、飾りつけなど本職のプロから学びます。	11～12月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
デジカメ整理術 カレンダー作り	季節感のあるものをピックアップしたり、テーマを決めて選んだものを編集して絵とし、オリジナルカレンダーを作ります。	10月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
デジカメ整理術 アルバム作り	撮りっぱなしになりがちデータをタイトル別にまとめることによって見やすくいつまでも楽しめるアルバムを作ります。	1月 3回

自主事業別計画書

施設名 横浜市中心地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春夏秋冬 季節の行事食	四季に沿ったおもてなし料理を学び季節感を味わいます。	5月～3月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
万葉集こぼれ話	日本に現存する最古の和歌集である万葉集。様々な身分の人間が詠んだ歌をひもときながら、その中に含まれる学問のヒントを織り交ぜながらわかりやすく説明していきます。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
腰痛にならないための予防整体法	腰痛予防のための自分でできる整体法を学びます。	7月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
腰痛になってしまった時の対処整体法	腰痛があるときに少しでも楽になるような自分でできる整体法を学びます。	8月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のための卓球基本教室	初心者を対象にした基本から指導する卓球教室です。卓球人口の増加に伴い、やったことがない人でもはじめるきっかけ作りとなるようにカリキュラムを組んでいきます。	10月～11月 6回

自主事業別計画書

施設名 横浜市中心地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ファイナンシャルプランナーから学ぶ “私の生活設計”	生活設計の考え方、たて方を学び、将来に向けた方向性を自分なりに把握するきっかけとなる講座です。	1月～2月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
毛筆で年賀状	毛筆を使って年賀状を書くことを目的とし、自分らしい文字が書けるきっかけとなるよう指導します。	11月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
デッサンの一歩	初心者を対象に鉛筆の運び方、モデルの見方からていねいに指導し、デッサンの技法を身につけます。	3月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
陶芸教室	ろくろを使って湯のみや小鉢、茶碗など日常使いの陶器を作ります。	1月～2月 4回

自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもちゃ病院	ものを大切に作る心を養います。また、こわれたおもちゃを直す過程を見ることで、おもちゃの仕組みを知ることができます。自分で直してみたい希望があれば、おもちゃドクターに教えていただきながら直すこともでき、子どもにとって普段使わない工具にふれるきっかけにもなります。	4～2月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はじめての茶道教室	茶道を通じて日本の伝統文化を学びます。小学生から中学生を対象に、基本的な作法を学びながら伝統文化としての茶道を楽しむきっかけにします。道具・水屋の説明、お菓子の取り方、お茶の飲み方から入り、基礎的な一流れのお手前ができることを目指します。表千家を学びます。	10～11月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
茶道のお稽古(表千家)	きっかけ作りとして企画した茶道教室の受け皿として、表千家の作法をよりていねいにお稽古していく講座です。茶道のきっかけづくりだけではなく、お稽古を続けさせてもらいたいとのリクエストを受け企画しています。	4～3月 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み子ども卓球教室	ラケットの持ち方、姿勢、素振りから学び、ゲームを楽しみます。また、卓球の基本を学びながら、道具を大切に扱うこと、友達との協調性などを身につけていくことを目的とします。夏休みの間に集中して卓球の練習をするため、毎年参加する子どもたちも多く、上達していく子どもたちをそのレベルに応じてていねいに指導していきます。	7～8月 6回

自主事業別計画書

施設名 横浜市中心地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子バドミントン 教室	バドミントンを通じ、親子のふれあいの場となることを目的とします。バドミンントンの楽しさだけでなく親子で楽しむことのできる共通のスポーツとしてのきっかけ作りとします。また打ち方の基礎的な技術も学べます。	1～2月 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やってみよう！囲 碁・将棋ゲーム	囲碁・将棋で遊びながら考える力を養います。子どもの放課後の時間帯を設定し、誰でも参加できるようにオープンな講座を企画しています。参加者のレベルにあった指導を行います。	4～3月 20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作教室 牛乳パックで作る びっくり箱	身近材料を使って工作をします。作ったあとも楽しく遊べるものを企画しています。	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み工作教室 メモリアルクロッ ク	身近材料を使って工作をします。夏休みの思い出の写真や絵を使ってオリジナルな時計を作ります。置時計にも壁掛け時計にもなります。	8月 1回

自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み工作教室 リニアモーター カー	身近材料を使って工作をします。科学実験をしながら、リニアモーターの仕組みを学びます。	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
劇サークル楽童 IN中山	童話などからのいろいろな小作品をテキストにして、声に出し読み、からだ全体を使った表現力を養います。相手との間合いや朗読の仕方など、お互いのつながりを五感を使っていねいに理解し表現することができる朗読劇の発表を目標とします。	10月～12月 14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
放課後の学び舎	小学生・中学生・高校生を対象に、学力向上のための勉強会をします。指導経験豊かな講師を招き、個人のレベルにあった指導をしていきます。	8月～9月 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カンフーレッスン	動きの速い長拳、カンフーを学びます。体のバランス感覚・筋力の向上を目指します。体力、集中力が必要なスポーツのため、子どもたちに無理のないよう講座の組み立てを工夫します。	10月 4回

自主事業別計画書

施設名 横浜市中山地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プロに学ぶ 初めてのボウリング	ファミリーでできる健全なスポーツとして普及させることを目的のひとつとし、個人のレベルに合わせたプロによるていねいな指導が受けられる講座です。	9月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども百人一首大会	昨年度までの自主事業で百人一首に親しんできた子どもたちを中心に、誰でも参加できる3人一組のかるた取り大会をします。いろいろな遊び方を通じて百人一首に親しみながら、今まで練習してきた成果を発揮する場になればと企画しています。	1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成23年度 中山地区センター収支予算書

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	37,121,000				0	横浜市より
利用料金収入	4,508,000				0	
自主事業収入	1,004,000				0	
雑入	514,000	0	0	0	0	
印刷代	63,000				0	
自動販売機手数料	449,000				0	
その他(預金利子等)	2,000				0	
その他					0	
収入合計	43,147,000	0	0	0	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,492,000	0	0	0	0	
給与・賃金	19,700,000				0	職員3名、スタッフ14名
社会保険料	1,600,000				0	
通勤手当	150,000				0	
健康診断費	24,000				0	
勤労者福祉共済掛金	18,000				0	
事務費	1,311,000	0	0	0	0	
旅費	10,000				0	
消耗品費	236,000				0	
会議賄い費	10,000				0	運営委員会・利用者会議等
印刷製本費	200,000				0	リグラフ経費、パフォーマンス料
通信費	200,000				0	電話、切手、インターネット
使用料及び賃借料	150,000				0	カラオケ通信費
備品購入費	200,000				0	
図書購入費	150,000				0	
施設賠償責任保険	60,000				0	
職員等研修費	15,000				0	
振込手数料	10,000				0	
リース料	70,000				0	AED
手数料					0	
地域協力費					0	
その他					0	
事業費	1,704,000	0	0	0	0	
自主事業費	1,704,000				0	
管理費	14,077,000	0	0	0	0	
光熱水費	9,198,000	0	0	0	0	ハーモニ-みどり共益費
電気料金	3,400,000				0	
ガス料金	2,000,000				0	
水道料金	3,798,000				0	
清掃費	1,077,000				0	ハーモニ-みどり共益費
修繕費	1,500,000				0	ハーモニ-みどり共益費含む
機械警備費	280,000				0	ハーモニ-みどり共益費
設備保全費	2,022,000	0	0	0	0	ハーモニ-みどり共益費
空調衛生設備保守	700,000				0	
消防設備保守	183,000				0	
電気設備保守	300,000				0	
害虫駆除	33,000				0	
エレベーター保守	98,000				0	
自動ドア保守	89,000				0	
非常用放送設備					0	
植栽管理	290,000				0	
設備総合巡視点検	270,000				0	
その他(建築物環境衛生管理技術者)	59,000				0	
その他()					0	
共益費					0	
公租公課	1,331,000				0	
事務経費	1,730,000				0	
ニーズ対応費	1,502,000				0	
支出合計	43,147,000	0	0	0	0	
差引	0	0	0	0	0	

平成23年度 中山地区センター利用料金収入予算内訳

(単位:円)

項目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明(内容、積算等)
利用料金収入	4,508,000	0	4,508,000	0	4,508,000	
体育室	1,155,000		1,155,000		1,155,000	
会議室	1,877,000	0	1,877,000	0	1,877,000	
会議室A	1,097,000		1,097,000		1,097,000	
会議室B	780,000		780,000		780,000	
			0		0	
料理室	313,000		313,000		313,000	
和室	599,000		599,000		599,000	
工芸室	564,000		564,000		564,000	